

研究課題番号	2-2102
研究課題名	気候変動の複合的リスクへの対応に関する研究
研究実施期間	2021 年度～2023 年度
研究機関名	東京大学
研究代表者名	亀山康子

1. 委員の指摘及び提言概要

気候変動影響の複合的リスクとして、日本企業に及ぼす経済的リスク、アジア地域での国境を越えた活動におけるリスク、国際的制度に関するリスクの3つを研究テーマとし、アンケートや担当者会議などを含め包括的なリスク分析を実施しており、貴重な成果が得られている。業種ごとのリスク認知に関して情報を整理し、関心が低い業種への意識誘発の必要性や金融セクターの重要性を示した他、石炭火力の海外への支援など ODA に対する多面的視点の重要性、気候難民への対応や日本の役割などについて環境施策へのベース情報や提言を整理したことは脱炭素施策の面から高く評価される。今後さらに広範なリスクを設定することや未来の予測不可能なリスクなどへの対処手法など複合リスクをより一般化することや具体的な政策を含めて研究を進展させることを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A